

令和8年度（2026年度）

生坂村がん検診・健康診査等 日程一覧



<お問い合わせ先>

生坂村役場 健康福祉課 健康づくり係（健康管理センター内）

Tel : 0263-69-3500 Fax : 0263-69-3505

がん検診・健康診査等		月日	受付時間(予定)	会場	受診料 ※年齢は全て令和9年3月末時点年齢です。
健康診査 大腸がん検診(30歳以上) 前立腺がん検診(50歳以上) 胃がんピロリ菌検査 (70歳以上) 肝炎ウイルス検査		8/21(金) 24(月) 25(火)	9:00~11:30 13:00~15:00 ※8/25は朝イチ 健診を予定	健康管理センター	健康診査 20~39歳 : 1,000円 国保加入者 : 1,000円 ■40・50歳無料、75歳以上無料
					大腸がん検診 500円 ■41・46・51・56・61歳無料
					前立腺がん検診 500円
					肝炎ウイルス検査 100円 ■5の倍数の年齢無料
		11/6(金)	9:00~15:00		ピロリ菌検査(胃) 500円(70歳以上)
歯科健診		9/9(水) 11/30(月)	午前中	健康管理センター	無料
胃がん検診(40歳以上)		8/5(水)	6:30~9:00	健康管理センター	700円
肺がん検診	レントゲン (20歳以上)	7/24(金) 11/6(金)	8:30~11:30 9:00~11:00	各地区公民館等 健康管理センター	無料
	CT(40歳以上)	6/29(月) /30(火)	9:00~11:30 13:00~14:00	健康管理センター	
子宮頸がん検診(20歳以上)		6/22(月)	13:00~13:45	健康管理センター	700円 (HPV追加の場合600円追加) ■21・26・31・36・41歳無料
乳がん検診	マンモグラフィー (40~74歳)	10/16(金)	9:00~11:30	健康管理センター	1,000円 ■41・46・51・56・61歳無料
	超音波 (30歳以上)	6/22(月)	9:00~11:30	健康管理センター	700円 ■41・46・51・56・61歳無料
骨健診(20歳以上)		6/12(金)	9:00~11:30 13:00~15:00	健康管理センター	500円

がん検診

1. 目的

がん検診は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることを目的としています。

2. お願い

- 1) 検診を受ける部位で治療や内服をしている方、あるいは医師の指示の下、定期的に検査を受けている方は、村で行うがん検診は対象外になります。ご了承ください。
- 2) がん検診の種類によっては、検診車への階段昇降や、身体の向きを変えながらの検査が必要となります。これらの動作が大変な方でがん検診を希望される方は、医療機関へ直接ご相談ください。

無料対象者



下記の年齢の方を対象に、がん検診を無料としております。

年度末年齢	生年月日	無料で受けられるがん検診		
61歳	昭和40年4月2日 ~ 昭和41年4月1日	大腸がん	乳がん	
56歳	昭和45年4月2日 ~ 昭和46年4月1日	大腸がん	乳がん	
51歳	昭和50年4月2日 ~ 昭和51年4月1日	大腸がん	乳がん	
46歳	昭和55年4月2日 ~ 昭和56年4月1日	大腸がん	乳がん	
41歳	昭和60年4月2日 ~ 昭和61年4月1日	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
36歳	平成 2年4月2日 ~ 平成 3年4月1日			子宮頸がん
31歳	平成 7年4月2日 ~ 平成 8年4月1日			子宮頸がん
26歳	平成12年4月2日 ~ 平成13年4月1日			子宮頸がん
21歳	平成17年4月2日 ~ 平成18年4月1日			子宮頸がん

大腸がん検診

大腸がんは早期発見が大事です。しかし、初期段階では自覚症状がなく、症状が出てからでは遅いことが多いがんです。特に、女性では部位別死亡率のトップとなっています。

まずは、手軽にできる「便潜血検査」を受けましょう。

対象者	30歳以上
内容	問診、便潜血反応検査(2日法)
受診料	500円 ■年度末年齢が 41・46・51・56・61歳は無料
会場	健康管理センター
期 日	8月21日(金)・24日(月)・25日(火) 11月6日(金) ※集団健診と同日に実施します



便潜血検査とは??

排便の中に血液の反応があるかどうか調べます。

2日間の便潜血検査でいずれか1日でも「陽性」

と判定された場合は、大腸がんの可能性があるため、早めに精密検査を受けましょう。

検査は2日間の便から採取したものを期日に持参してください。

胃がん検診

胃がんの部位別がん死亡数は男性3位、女性5位であり、予防には早期発見が必要です。

村では、令和7年度より75歳以上の方を対象にピロリ菌検査をスタートしました。ピロリ菌は、胃の粘膜に生息している細菌で、感染しても症状がない場合もあります。幼少期に一度感染すると多くの場合、除菌しない限り胃の中に住み続け、胃がんや胃潰瘍のリスクとなります。

今年度から、対象者を70歳以上に拡充しました。70歳以上の方は、体に負担の少ないピロリ菌検査も検討してください。

どちらか一方を選んでお申し込みください。

バリウム検診		ピロリ菌検診	
対象者	40歳以上	対象者	70歳以上
内容	問診、胃部レントゲン撮影	内容	問診、採血
受診料	700円	受診料	500円
会場	健康管理センター	会場	健康管理センター
期日	8月5日(水)	期日	8月21日(金)・24日(月)・25日(火) 11月6日(金) ※集団健診と同日に実施します
【受けられない方】		【受けられない方】	
・食道、胃、十二指腸のいずれかを切除している方		・ピロリ菌の除菌治療を受けたことがある方	
・極度な便秘の方		・胃の切除術を受けた方	
・認知症状のある方		・胃酸分泌抑制薬（胃・十二指腸潰瘍や逆流性食道炎などに使われる薬）を内服中の方	
・妊娠中、授乳中の方		・腎機能が低下している方	
・飲み込むことが難しい、むせやすい方		・消化器症状(胃痛・吐き気・嘔吐)などがある方	
・色々な体位になる検査に耐えられない方			
・介助がないと階段の昇降ができない方			
・当日の血圧が高値の方			
※痔核（いぼ痔、切れ痔）からの出血がある方は、受診できない場合があります。		申込方法 同封の黄色の用紙にご記入ください	

どちらの検査も、上記を問わず、当日の体調に不安のある方、問診で不適と判断された方は、検査をお断りすることがあります。



「バリウム検診」と「ピロリ菌検査」は何が違うの？

●バリウム検診

胃を膨らませる発泡剤と造影剤(バリウム)を飲み、X線をあてながら撮影します。撮影したいところにバリウムがうまく付着するよう、身体を上下左右に動かします。バリウムで便秘などを起こす可能性があるため、検査後は下剤の内服、水分摂取が必要です。

●ピロリ菌検査

血液検査で、胃がんの最大の原因と言われる、ピロリ菌に感染しているかを判定します。結果に応じて、保健師が説明、フォローを行います。

結核・肺がん検診

肺がんは、日本の部位別死亡数の第1位で、その数は年々増えています。タバコを吸うと肺がんになる危険性が20倍以上も高まるといわれ、喫煙率の高い男性に多いがんです。

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。年に一度はレントゲン検査を受けましょう。

レントゲン検査、もしくはCT検査の**どちらか一方**を選んでお申し込みください。

胸部レントゲン(結核・肺がん検診)		胸部CT(肺がん検診)	
対象者	・20～39歳で、職場などで受診の機会がない方 ・40歳以上	対象者	40歳以上
内容	問診、胸部レントゲン撮影	内容	問診、胸部らせんCT撮影
受診料	無料	受診料	1,500円
会場	7月：村内を巡回 ※健康管理センターは巡回しません 11月：健康管理センター	会場	健康管理センター
期 日	7月24日(金) 11月6日(金)	期 日	6月29日(月)・30日(火)

※申し込み人数によっては午前みの検診となる場合があります。ご了承ください。

感染症法では、65歳以上の方は、結核予防のため年1回以上胸部レントゲンを受けることになっています。医療機関等で検査の機会がない方は受診しましょう。

? メリット

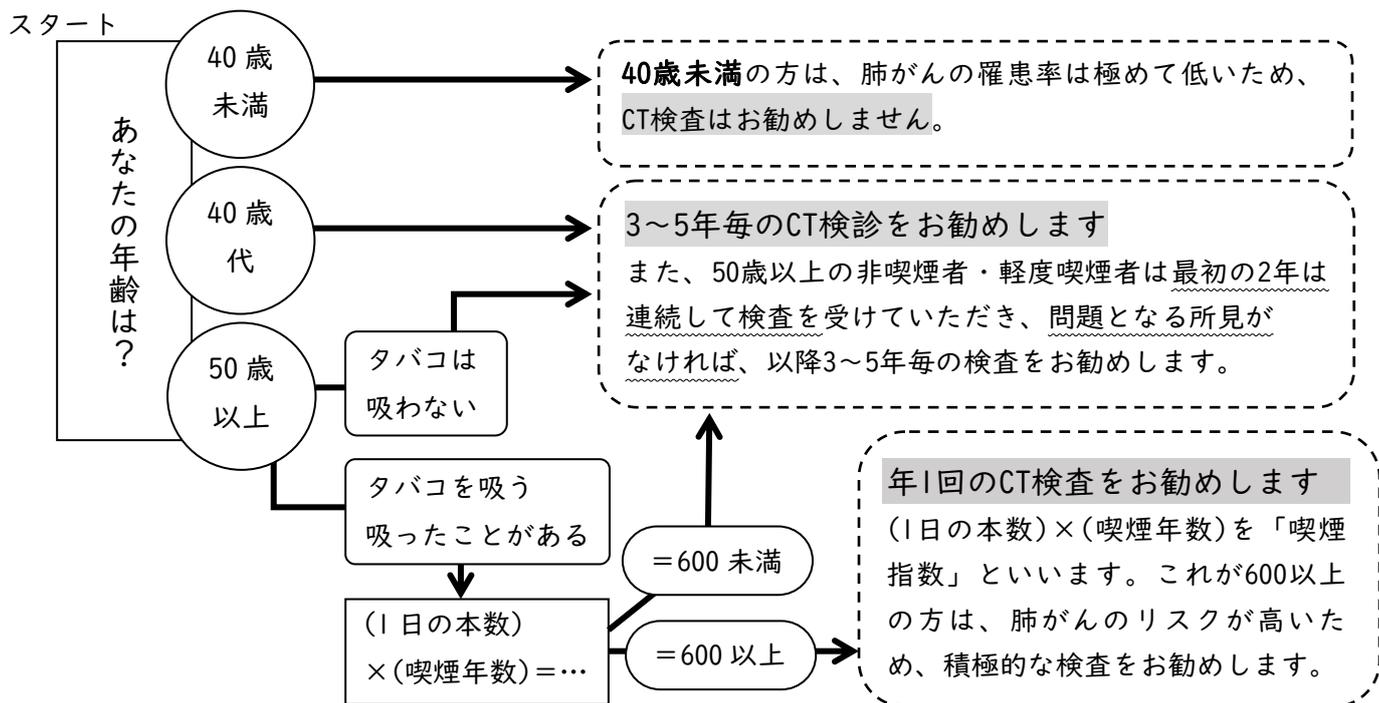
心臓や肺に隠れた小さながんを発見するのに有用です。胸部レントゲンに比べて、より早期の段階でがんを発見できます。

? デメリット

X線被ばくが胸部レントゲンよりも高いです。

【注意】 介助がないと階段の昇降ができない方は受診できません。

=== 肺がん CT検査 受診間隔フローチャート ===



子宮頸がん検診

子宮頸がんは、性交渉を行ったことがある女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。20～40代の女性に多く、年間約3000人が死亡しており、罹患者及び死亡者は増加傾向です。子宮頸がんは場合により、妊娠・出産が困難になることもあるため、検診で早期発見することがとても大切です。子宮頸がんの原因やがんになる過程はほぼ解明されており、ほとんどはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によるといわれているため、HPVの追加検査をお勧めします。

厚生労働省の指針により、20歳以上の方は、**2年に一度の検査**が推奨されています。

どちらか一方を選んでお申し込みください。

集団検診

対象者	20歳以上の女性
内容	問診、内診、 細胞診 HPV検査 (30歳以上の希望者)
受診料	細胞診のみ：700円 ■年度末年齢が 21・26・31・36・41歳の方は無料 HPV検査併用：1,300円 (30歳以上の希望者)
会場	健康管理センター
期日	※6月22日(月) 午後

村のクーポンを利用した個別健診

対象者	20歳以上の女性
内容	問診、内診、細胞診
受診料	細胞診のみ：700円 ■年度末年齢 21・26・31・36・41歳の方は無料
受診方法	4月下旬頃に、クーポン券と受診料の納付書が自宅に届きます。各自、指定医療機関へ希望する日に検診予約を取って受診してください。
受診できる医療機関(抜粋)	●穂高病院 ●安曇野赤十字病院 ●白木医院 ●あずみ野レディースクリニック ●北アルプス医療センターあづみ病院 など

※乳がん超音波検査と同日に受診できます。
(午前と午後に分けて実施します)

? HPV検診と細胞診の違いは??

HPV検診、細胞診ともに子宮の入口の細胞をこすり取る検査です。

右図1

HPV検査はHPVウイルスに感染しているか、将来がん化する可能性のある細胞(ハイリスク型HPV)を早期発見し、詳しく調べることができます。細胞診より、早期に感染した細胞を発見できます。

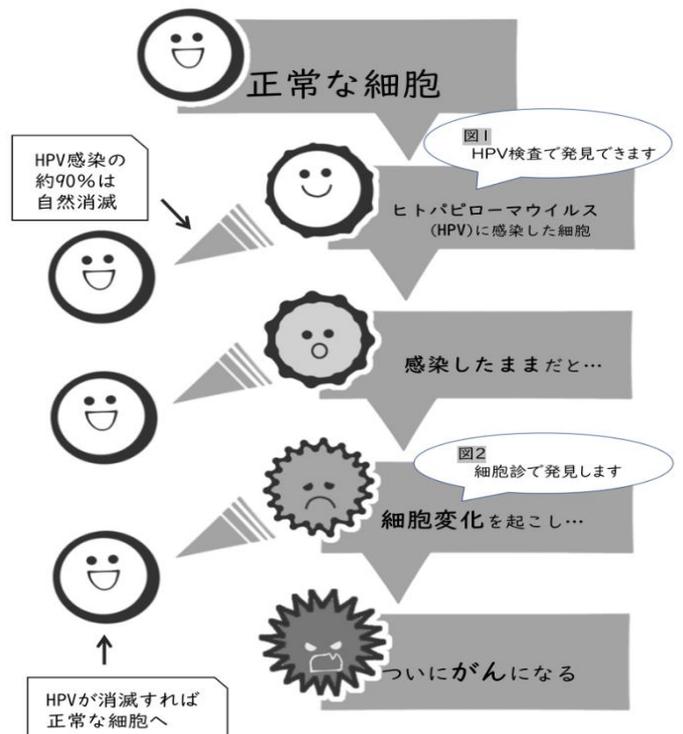
右図2

細胞診は異常な細胞の有無を判定します。

? 生理中でも検査はできるの??

生理中は、経血で正確な診断が難しくなる可能性があります。不安のある方は、個別健診をお勧めします。

? HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染とは??



乳がん検診

乳がんは、増加傾向にあり、日本人女性の約10人に1人が生涯で乳がんになるとされています。40歳代から急増し、40～70代に最も多くみられます。

厚生労働省の指針では、40歳以上の方は2年に一度のマンモグラフィー検査が推奨されています。(超音波検診は、規定がありません。)

妊娠中及び妊娠の可能性のある方、授乳中の方は受診できません。

いずれか一つを選んでお申し込みください。

超音波検査と子宮頸がん検診
が同日に受診できます
(午前と午後に分けて実施します)

マンモグラフィー検診(集団)

対象者	40～74歳の女性
内容	問診、乳房レントゲン撮影
受診料	1,000円 ■年度末年齢が 41・46・51・56・61歳の方は無料
会場	健康管理センター
期日	10月16日(金)

超音波検診(集団)

対象者	30歳以上の女性
内容	問診、乳房超音波検査
受診料	700円 ■年度末年齢が 41・46・51・56・61歳の方は無料
会場	健康管理センター
期日	6月22日(月) 午前

村のクーポンを利用したマンモグラフィー個別検診

対象者	40～74歳の女性
内容	問診、乳房レントゲン撮影
受診料	1,000円 ■年度末年齢が41・46・51・56・61歳の方は無料
受診方法	4月下旬頃に、クーポン券と受診料の納付書が自宅に届きます。 各自、指定医療機関へ希望する日に検診予約を取って受診してください。
受診できる 医療機関(抜粋)	●穂高病院 ●安曇野赤十字病院 ●高橋医院 ●村山医院 ●丸の内病院検診センター ●北アルプス医療センターあづみ病院 など



「超音波検査」と「マンモグラフィー」は何が違うの??

超音波検査は、数ミリの小さなしこり(がん)も見つけやすく、同時にしこりの性状が分かりやすい反面、細かい石灰化や性状、範囲までは確認できません。

マンモグラフィー検査は、超音波では認められないがんを、石灰化や乳腺のゆがみとして発見できます。ただ、検査に痛みを伴うことがあり、また、年齢や乳腺量により詳しい診断ができない場合があります。



前立腺がん検診

前立腺がんは、進行はゆっくりですが、進行すると骨や肺に転移しやすいがんです。

対象者	●50歳以上の男性 ●40～49歳で、家族歴のある方
内容	問診、血液検査(PSA検査)
受診料	500円
会場	健康管理センター
期 日	8月21日(金)・24日(月)・25日(火) 11月6日(金) ※集団健診と同日に実施します

人間ドックを受診予定の方は、採血項目に含まれている場合があります。受診医療機関にご確認ください。

骨健診(骨密度測定)

骨粗しょう症は、骨密度が低下し骨がもろくなって骨折しやすくなる病気です。閉経期以降の女性や高齢の男性に多くみられますが、30～40代の若い人の中にも多くの予備軍がいることが明らかになっています。

 どのように測定するの??

かかとの骨(踵骨)に超音波を流して測定します。かかとの骨は、骨密度が落ちやすいことから、初期の段階での骨密度測定に適しています。測定は5分程度と手軽に受けられて、その場で結果が分かります。

対象者	20歳以上
内容	問診・かかとの骨密度測定 結果により栄養指導を行います
受診料	500円
会場	健康管理センター
期 日	6月12日(金)

肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルスにはA型～E型があり、肝炎ウイルスに感染した肝臓に炎症が起きます。特に、C型肝炎ウイルス(C型肝炎)は長引きやすく、病気が進むと肝硬変、肝がんとなり重症になる場合があります。

対象者	40歳以上で、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方
内容	問診、血液検査
受診料	●40歳(含む)から 5歳刻みの年齢：無料 ●その他の年齢：100円
会場	健康管理センター
期 日	8月21日(金)・24日(月)・25日(火) 11月6日(金) ※集団健診と同日に実施します
申込方法	同封の緑色の用紙にご記入ください

※村や人間ドックで検査歴がある方は検査をお断りさせていただきます。検査で一度陰性と判断されれば、大きな手術や輸血等の治療を行わない限り、毎年の検査は必要ありません。

※この検診では、B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの感染の有無を判定します。

次に当てはまる方は、受診をお勧めします。

- ・ご家族がB型・C型肝炎ウイルスに感染している方
- ・母子感染予防策が実施されていなかった昭和60年(1985年)以前に生まれた方
- ・輸血や大きな手術を受けたことがある方
- ・入墨を入れたり、医療機関以外でピアスの穴をあけたことがある方

